

ウインナック株式会社 （製造業）

《 “福祉” ではなく “ビジネス” として障がい者の安定的雇用と継続的な所得収入の確保を実現》

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 障がい者雇用を目的に、1994 年に第三セクター方式の重度障害者多数雇用事業所として和歌山県、和歌山市とアクロナイネン株式会社の共同出資により創設された。2009 年には子会社のウインワークス社を創設、障がい者の管理職が職業訓練や指導を実施するなど活躍している。

◆取組内容

- ・ 創業当初は、障がいを持つ社員に対しての接し方や作業の指導法まで、すべて手探りであった。本人の能力や適性に合う作業の選択や、作業の最適な指導方法が見つからず、大量に採用しては大量に離職する状況であった。
- ・ 2004 年に親会社がダイカスト鑄造事業を拡大したことを契機に、製品のバリ取り作業をウインナック社で請け負うことになり、繰り返し作業の集中力に優れた知的障がいを持つ社員に適した作業プロセスが発生した。そこで、本格的に障がい者を活用するため、支援体制として、社員 4 名を相談員とし、年金給付の手続きや親との面談などにも対応するなど、生活面にわたる指導や支援を実施するなど安心して働ける環境づくりに注力してきた。その結果、事業が安定し始めるとともに生産現場も軌道に乗り始めた。
- ・ 2009 年には就労支援 A 型作業所のウインワークス(株)を子会社として創設（2012 年 10 月現在、障害者雇用率 82.4%）、障がいを持つウインナック社員が管理職として活躍するようになった。障がい者比率が増えたことで、お互いをフォローしあいながら、「できるところをほめる」プラスの発想で業務に取り組めるようになった。その結果、業務に対する自信もつき、障がいの有無にかかわらずスキルやノウハウを持つ社員が他の社員に対して指導を行うことができるようになっていく。
- ・ 評価については、年に 1 回、社員ごとに求められる技術水準への到達度が測られ、給与に反映される仕組みとなっており、社員のモチベーションを高めることにもつながっている。

◆成果

- ・ 障がい者の定着率が飛躍的に向上し（年平均離職数：1994～98 年 8 名→2008～12 年 1.4 名）就労が安定。障がいのある社員同士の教え合いにより社員のスキルアップ、生産性向上につながっている。また、企業理念に賛同した企業からの引き合いもあり、直接的な業績拡大にもつながっている。

<企業概要>

設立年	1994 年	資本金	80 百万円
本社所在地	和歌山市雑賀崎2017-3		
事業概要	ダイカスト鑄造、グラビティ鑄造、金型製造、各種金属製品のバリ取り等加工、リサイクルトナー製造		
売上高(※)	676 百万円 (※)直近決算期(2012 年 1 月)		

<従業員の状況（単体）>

総従業員数	52 人（うち非正規 0 人）
属性ごとの人数等	【障がい者】 11 人
正規従業員の平均勤続年数	9 年